



40

しんげんづつみ 信玄堤

山梨県竜王町竜王

竜王町は、山梨県の甲府盆地のほぼ中央の平坦な土地に位置し、良質な米麦の産地として有名である。近年公共施設の整備が整うにつれ、住宅・店舗、工場などの立地により都市化の進んでいる街である。

〔文化・観光〕 慈照寺、山県神社、信玄堤、御幸祭（4月15日）

山梨県甲府盆地の西部を流れる釜無川は、暴れ川として知られ、甲斐の人々の生活を苦しめてきた。戦国時代の名将武田信玄は、このため一七年の歳月と斬新な治水工事により、堤防を完成させた。以後、甲府盆地は水害から解放され、今日の発展の基礎を築いた。

堤防は信玄公の業績をたたえ「信玄堤」とよばれ、地元の人々により維持管理され、守られてきた。釜無川の治水対策は、今日においても重要な役割をになっている。

現在、堤防周辺は森林公園として人々の憩いの場として保存活用され、地域住民、県や町の職員によって美化活動が定期的に実施されている。

信玄公が残した治水と文化を今に伝える貴重な遺産である信玄堤は、四〇〇年後の今も往時の原形をとどめ、竜王町の誇りとなっている。

